



市議会本会議場で行われた令和4年（第24回）新成人議会

※関連記事は P.12

## ピックアップ議会

- 令和3年度沼津市一般会計補正予算（第11回）をはじめとする  
新型コロナウイルス感染症対策予算の内容 …………… P.2

## 市政について問う！

- 14人の議員が一般質問を行いました …………… P.4～7

## 委員会レポート

- 特定調査事項の取組状況と管内視察について報告します …… P.10～11

11月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の拡充に関する議案などを審議し、いずれも原案のとおり議決しました。

ここでは、その主な内容についてお知らせします。

令和三年度沼津市一般会計補正予算（第十一回）をはじめとする  
新型コロナウイルス感染症対策予算の内容

子育て世帯への臨時特別給付金

12億9,952万3,000円

18歳以下の子育て世帯への臨時特別給付金  
対象児童1人につき10万円\*

※今定例会では先行給付の5万円の補正予算を可決し、その後、国の方針変更に伴い、本市では10万円を一括給付するもの

議第76号  
令和3年度沼津市一般会計補正予算  
(第13回)



一般会計予算決算委員会での主な質疑

- 問** 補正額の内訳は。  
**答** 18歳以下の子供がいる世帯に対し、子供1人当たり5万円を支給する臨時特別給付金として12億9,000万円を、また、その支給に係る振込手数料等の事務費として952万3,000千円を計上するものである。

沼津市児童扶養手当受給者応援特別給付金  
(市独自の給付金)

6,930万円

児童扶養手当を受給するひとり親世帯に対する特別給付金 1世帯につき5万円



認第32号  
専決処分の報告及びその承認（令和3年度  
沼津市一般会計補正予算（第11回））



一般会計予算決算委員会での主な質疑

- 問** 給付対象を低所得のひとり親家庭に限定した理由は。  
**答** 新型コロナウイルス感染症のひとり親家庭への影響に関する緊急調査の結果において、年末に向けての暮らし向きが苦しい・直近1か月に必要とする食糧が買えないことがあったと回答したひとり親家庭の割合が、それ以外の世帯と比べ高い状況であったことなどを踏まえ、低所得のひとり親家庭を支援するためである。

宿泊割引クーポン発行事業

7,950万円

「お得に沼津！スマイルステイキャンペーン！」として市内宿泊施設の宿泊割引クーポンの発行等に係る経費



認第32号  
専決処分の報告及びその承認（令和3年度  
沼津市一般会計補正予算（第11回））



一般会計予算決算委員会での主な質疑

- 問** 本キャンペーンの内容は。  
**答** 本キャンペーンは、観光客やビジネス客などの市内宿泊を促進することにより、観光施設や飲食店等の利用を拡大し、市内経済の活性化を図ることを目的として本市独自の宿泊割引クーポンを発行するものである。枚数は、3,000円クーポンを1万2,000枚、5,000円クーポンを4,000枚、1万5,000円クーポンを1,000枚発行するものである。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本キャンペーンは1月18日以降、クーポンの発行及び新規予約を停止しています。（1月28日）



## 11 月定例会の主な内容

第 11 回（11 月）定例会は、11 月 26 日から 12 月 17 日までの 22 日間にわたり開催しました。この定例会では、令和 3 年度補正予算議案等 11 件と動議 1 件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。

また、14 人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。（P.4～7）この定例会の主な内容を紹介します。

### 主な議案一覧

	議案名	内 容	議決結果
条 例	議第 69 号 沼津市手数料条例の一部改正	<p><b>■長期優良住宅の認定申請に係る手数料を改めます</b></p> 長期優良住宅の普及の促進に関する法律及び住宅の品質確保の促進等に関する法律の一部改正に伴い、長期優良住宅建築等計画の認定申請に係る手数料に関する規定を改めるとともに、容積率の特例の許可申請に要する手数料を定めるものです。	可決
	議第 70 号 沼津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	<p><b>■デジタル化の推進に伴い、保育所等が作成する文書に係る規定を改めます</b></p> 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に依り、電磁的記録等についての規定を追加するほか、所要の改正を行うものです。	可決
	議第 71 号 沼津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	<p><b>■デジタル化の推進に伴い、家庭的保育事業者等が作成する文書に係る規定を追加します</b></p> 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に依り、電磁的記録についての規定を追加するものです。	可決
予 算	議第 72 号 令和 3 年度沼津市一般会計補正予算（第 12 回）	<p><b>■ 9 億 9,098 万円を追加し、予算総額は 783 億 3,349 万 7,000 円となります</b></p> 追加するものは、財政調整基金積立金 10 億 865 万 6,000 円、障害児通所等給付費 1 億 700 万円が主なもので、減額するものは、人事異動等に伴う職員人件費の調整額 2 億 2,726 万 1,000 円です。財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金などをもって充てるものです。このほか、繰越明許費として橋梁等道路構造物維持事業 7,425 万円など 5 事業を翌年度に繰り越すものです。	可決
	議第 76 号 令和 3 年度沼津市一般会計補正予算（第 13 回）	<p><b>■ 18 億 1,559 万 7,000 円を追加し、予算総額は 801 億 4,909 万 4,000 円となります</b></p> 追加するものは、子育て世帯への臨時特別給付金事業費 12 億 9,952 万 3,000 円、新型コロナウイルスワクチン接種事業費 5 億 1,607 万 4,000 円で、財源としては、国庫補助金などをもって充てるものです。	可決
人 事	認第 33 号、認第 34 号 人権擁護委員推薦の同意	令和 4 年 3 月 31 日をもって任期満了となる <small>つちやひろみ</small> 土屋博文氏の後任として、戸田在住の <small>すずきとしふみ</small> 鈴木敏文氏を推薦するもの、また、令和 4 年 3 月 31 日をもって任期満了となる南本郷町在住の <small>のがたちかこ</small> 野方千賀子氏を再任の委員として推薦するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



第十一回（十一月）定例会では、十四人の議員が市政について質問しました。

# 一般質問

議員名	主な質問項目	掲載頁
加藤 明子	市長の政治姿勢、市政運営の評価、2期目への決意表明	4
市川 道隆	鉄道高架事業、中心市街地まちづくり戦略	4
井原三千雄	緑と公園、海岸と千本松原、観光プロモーション活動	5
渡邊 博夫	コロナに負けない行財政運営、DXの推進、DXの人材育成	5
小泉 宣子	スクールカウンセラー、ひとり親家庭への支援	5
平野 謙	パートナーシップ制度導入に向けての検討状況	5
尾藤 正弘	「障がい」表記の使用、自転車通行空間の整備、償却資産申告	6
霞 恵介	学校トイレの環境整備	6
梶 泰久	学校統合、第一・第二中学校区、学校規模・学校配置、方針廃止	6
渡部一二実	防災力向上施策、上水道事業の高度化施策	6
川口 三男	人口減少に伴う本市のまちづくりの在り方	7
山下富美子	第一・第二中学校区の学校統合問題、地域との合意形成	7
江本 浩二	子宮頸がんワクチン接種	7
梅沢 弘	鉄道高架事業、財政リスク、シビックプライド、自治基本条例	7

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P.8の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



## 中心市街地まちづくり戦略の取組状況は

**問** 令和二年三月に中心市街地まちづくり戦略が策定され、沼津駅周辺総合整備事業の本格展開と併せて実施すべきまちづくりの施策の方向性が示されたが、その後の取組状況は。

**答** 都市計画部長／沼津駅周辺総合整備事業は事業期間が長期にわたるため、中心市街地まちづくり戦略に掲げる中期のまちの姿の実現に向け、戦略の柱のうち、短中期で取組が可能な「ヒト中心の公共空間の創出」及び「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」について、まちなかにおける歩行者の回遊状況や都市空間

の調査・分析を行うとともに、リノベーションまちづくりの推進や、低未利用地の利用転換等に向けて所有者に対する活用意向調査を行った。

**問** 令和三年二月に用地取得が完了した新貨物ターミナル整備の状況は。

**答** 市長／新貨物ターミナルの整備状況は、令和三年度中に県と行う埋蔵文化財調査を完了させるほか、鉄道施設工事に先駆け、令和四年一月に基盤を整える造成工事及び附帯する調整池築造工事に着手する。今後とも早期完成を目指し、県と連携して全力で事業の推進に取り組んでいく。

市川 道隆



## 今後の市政に対する市長の考えと2期目への決意は

**問** 令和四年四月二十八日の市長の任期満了を見据えた今後の市政に対する考えと2期目への決意は。

**答** 市長／市長就任後の三年余りは、新型コロナウイルス感染症の拡大や令和三年七月の豪雨など、予期せぬ事態に見舞われたが、活力あふれるまちづくり、いきいき暮らせるまちづくり、魅力輝くまちづくりの三つの重点施策に全力で取り組んできた。今後の市政運営においては、第五次沼津市総合計画に基づき、新総合体育館の供用開始及び新中間処理施設の造成工事が着手、子育て支援策の拡

充等による定住人口の確保、スポーツツーリズムの拡大等による交流人口の拡大、沼津産品のブランド化や就職・転職への支援による産業の振興、津波避難設備の整備等による安全・安心の確保など、様々な施策を推進していく。また、令和五年には市制施行百周年を迎えるという歴史的な節目において、市民の負託を受けられることができるならば、コロナ対策を念頭に置きつつ、引き続き市政運営に全力を投入し、誇り高い元気なまち沼津の実現のために、全身全霊を傾け取り組んでいく。

加藤 明子



### 新型コロナ感染症に対応したBCPの作成状況は

**問** 新型コロナウィルス感染症に対応したBCPの作成状況と感染拡大防止に向けた今後の取組は。

**答** 危機管理監／令和二年三月に、新型コロナウィルス感染症発生時業務対応計画を各課の業務内容に合わせて作成し、市民が安心できる体制を構築している。市民に対しては、引き続き感染防止対策や対応方針等の周知・啓発に努めるとともに、国・県と連携を図り、感染拡大防止対策に迅速かつ積極的に取り組んでいく。

**問** コロナ禍における新たな財政需要を踏まえた財政運営の方法は。

**答** 財務部長／コロナ禍においても自主財源の確保に努め、民間活力や国・県の補助金、市債を活用して財政負担の軽減・平準化を図り、市民生活の安定に必要な施策を推進しつつ、健全な財政運営を行っていく。

**問** 本市のDX推進に対する認識は。

**答** 企画部長／令和三年三月に策定した沼津市情報化推進・官民データ活用推進計画は、自治体のDXを推進する国の計画と方向性が一致しており、本計画を積極的に推進することで、市民サービスの向上と業務の効率化を図れるものと認識している。

渡邊 博夫



### 保養地・沼津の再興を図ることに対する認識は

**問** 保養地・沼津として島郷から千本松原に至るエリアの再興を図ることに対する本市の認識は。

**答** 産業振興部長／島郷から千本松原に至るエリアは、沼津御用邸記念公園に代表される皇室とのゆかり、文人墨客に愛された歴史的風土、沼津港を中心とした海の恵みなど本市ならではの地域資源や、首都圏に近くアクセスしやすい立地優位性など、ポテンシャルの高いエリアであると認識している。そのため、当該エリアの魅力をも十分に発信・活用することにより、多くの人が行ってみよう、



▲ぬまづの宝 100選にも選ばれている千本松原(上)と沼津御用邸西附属邸(下)

住んでみたい、関わってみたいと思えるまちづくりを推進し、第五次沼津市総合計画におけるまちづくりの柱である「地域の宝を活かすまち」の施策を進め、誇り高い沼津の実現を目指していく。

井原 三千雄



### パートナーシップ制度の必要性に対する認識は

**問** パートナーシップ制度について、①県内では、既に導入している浜松市・富士市に続いて、静岡市と湖西市が令和四年四月からの導入を発表しているが、本市の認識は。②先行している自治体では、本制度に対する理解が十分でないケースも見受けられるが、制度の必要性に対する認識は。③性の多様性理解のため、本市職員に向けた研修が必要であると考えるが、その認識は。

**答** 企画部長／①パートナーシップ制度については、県が、県内全域を対象に適用される制度として令和四

年度中の導入を目指していることから、県の制度が当事者に寄り添ったものとなるよう提案していく。②本制度は、性的少数者が安心感や自己肯定感を得られるとともに、性の多様性への理解促進にも効果があると考えられるため、本市としても必要であると認識している。③性的少数者への理解を深めるためには、職員に対する研修も必要であると考えており、令和四年一月開催予定の性の多様性に係るセミナーに職員の参加を検討しているほか、職員全体への研修の実施についても検討していく。

平野 謙



### スクールカウンセラー活用上の課題に対する認識は

**問** スクールカウンセラーの活用上の課題に対する認識と評価は。

**答** 教育長／スクールカウンセラーは、不安や悩みなどを抱える児童生徒への心のケアのほか、教職員や保護者への指導・助言を行い、対応能力を高めることを目的に、県教育委員会より割り当てられた配置時間数に応じて各学校に配置している。そのような中、個々の課題に対する対応時間が限られることや複雑化する問題に的確に対応する資質の向上が課題となっている。そのため、本市では、中学校区単位で同じスクール

カウンセラーを配置し、相談対象が小学校と中学校に通う兄弟姉妹であっても関連づけて対応できる工夫をしているほか、スクールカウンセラーが児童生徒の保護者と適切な信頼関係を構築できていくかを評価し、県教育委員会に報告することで指導につなげ、資質の向上に努めている。児童生徒を取り巻く環境は、成長とともに複雑化し、スクールカウンセラーに対する期待も大きくなっていることから、さらなる配置時間数の増加と資質の向上に向けた人材の育成を県教育委員会に要望していく。

小泉 宣子



## 「障害」の表記を平仮名交じりの「障がい」とする考えは

**問** 「障害」の表記について、「害」の字が持つイメージの悪さから、近年では平仮名交じりの「障がい」表記を使用する自治体が増えているが、①本市の組織名称における対応は。②広報ぬまづや市ホームページにおける対応は。

**答** 市長／①本市では、これまで国における基本的な取扱いに倣い、行政全般において常用漢字の「害」の字を使用してきたが、近年では平仮名交じりの表記が広く一般に浸透してきていることなどを踏まえ、ともに、障害のある人の気持ちに寄り

添い、障害のある人もない人も、共に心豊かに暮らせる共生社会を目指していく本市の姿勢を明確に示すため、令和四年度の組織改正において障害福祉課の名称変更を検討するなど、今後、平仮名交じりの表記の使用を進めていく。

**福祉事務所長**／②法令や国の公用文などの公的な取扱いの際には常用漢字により表記するものとされているため、このことを考慮しつつ、広報ぬまづ等における一般的な取扱いについては、平仮名交じりの表記を使用するよう検討していく。

尾藤 正弘



## 性の多様性に配慮した学校のトイレの整備は

**問** 性の多様性に配慮した学校のトイレの整備に対する考えは。

**答** 教育次長／性的マイノリティーである児童生徒のトイレの使用については、個々の事案に応じ職員用トイレや保健室のトイレを使用するなど、児童生徒の心情に配慮したきめ細やかな対応を行っている。誰でも気兼ねなく利用できるトイレの導入については、国の動向を注視しつつ、調査研究していきたいと考えている。

**答** 教育次長／児童生徒が健康的に活動できるよう学校施設の衛生環境を保つことは重要であると考えているが、トイレ環境の整備には、スペースの確保など課題が多い。そのため、消毒の徹底などの感染症予防対策を継続しつつ、今後、学校施設の改築・改修等の機会を捉え、ドライ化や多機能トイレの設置などを進めていきたいと考えている。

霞 恵介



▲学校の改修等の機会を捉え順次トイレの整備を行っている

## 第一・第二中学校区の学校統合の方針を廃止した経緯は

**問** 第一・第二中学校区における学校統合の方針を廃止した経緯は。

**答** 教育長／第一地区コミュニティ推進委員会から、統合方針の撤回に対する要望及び署名活動は第二地区コミュニティの総意で行っているものであり、方針を撤回しない限りは、自治会などの下部組織に対する地域懇談会の実施を拒否する旨の申出があった。このような状況の中、第一地区連合自治会及びPTAから、第二地区のみで協議していた状態に戻してほしいとの要望書が提出された。両地区が統合方針の撤回を求める状

梶 泰久



## 地域貢献を渴望しているふじのくに防災士との連携は

**問** 地域貢献を渴望しているふじのくに防災士との連携は。

**答** 危機管理監／自治会からの要請に応じてふじのくに防災士の紹介を行うとともに、自主防災組織で実施される訓練や防災イベント等において活動内容を紹介し、ふじのくに防災士が地域の防災活動に参画しやすい環境づくりに努めていく。また、ふじのくに防災士相互の連絡体制の確立及び地域防災の発展に寄与することを目的に設立されたふじのくに防災士会と、地域の防災訓練への講師としての派遣等について協議して

**問** いきたいと考えている。水道スマートメーターを導入する考えは。

**答** 水道部長／水道スマートメーターの導入は、検針業務の効率化や、水道使用量の見える化によるサービスの向上などが期待できる。今後、周辺市町の水道事業者やライフライン事業者との連携を模索するとともに、他市の実証実験の結果や費用対効果を検証しつつ、中長期的な視点で検討していく。

渡部 一二実



### 第一・第二中学校区統合における地域住民との合意形成は

**問** 第一・第二中学校区の学校統合において、地域住民との合意形成は図れていたのか。

**答** 教育長／学校は、地域コミュニティの重要な役割を担っていることから、学校統合に関する説明を連合自治会や地域コミュニティの会合で行ったほか、適正化推進委員会での協議内容などをお便りとして発行し、自治会での組回覧をお願いするなど、コンセンサスを得られるよう最大限努めてきたが、結果として、経過や状況を十分に伝えられていなかったものと受け止めている。

**問** 複式学級や単学級等におけるデメリットを裏づける教育学上の研究結果や実証的な根拠はあるのか。

**答** 教育長／複式学級や単学級におけるデメリットに係る検証データ等の実証的な根拠を明確に示すことはできないが、複式学級では、教師の直接指導を受ける時間が少なくなり教育の質を担保できなくなることで、単学級では、クラス替えができない環境から人間関係が固定化されることで懸念されるため、教育委員会としては、複数の学級を編成する規模の学校を目指すよう取り組んでいる。

山下 富美子



### 第2期総合戦略で定める基本目標の根拠は

**問** 第二期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標について、①事業所数を平成二十八年度実績よりも低い数値とした根拠は。②観光交流客数を令和元年度実績よりも高い数値とした根拠は。③令和七年度の出生数千二百人に対する施策の進め方は。④沼津に愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思う市民の割合を増やすための取組は。

**答** 産業振興部長／①経営者の高齢化による廃業等により事業所数は減少傾向にあるが、企業立地の支援により事業所の確保に努めていること

から、令和七年度の目標値を現状維持の一万事業所とした。②新たな観光スタイルに合わせた取組等に努めていることから、今後、観光交流客数が増加していくものと考え、令和七年度の目標値を六百万人とした。

**市民福祉部長**／③若い世代が安心して子供を生み育てられるような支援の充実を図り、若い世代が希望する子育て環境づくりを進めていく。

**企画部長**／④自然災害への対策、市民の自主的な活動への支援、多文化共生の推進など各種施策に取り組み、目標達成に努めていく。

川口 三男



### 国の厳しい財政状況を踏まえ鉄道高架事業を見直す考えは

**問** 鉄道高架事業は国から約六百億円もの補助金の交付を受けて実施するものであるが、国の厳しい財政状況を踏まえ、本事業を見直す考えは。

**答** 沼津駅周辺整備部長／鉄道高架事業は、国が重点施策として位置づける連続立体交差事業に該当しており、今後も補助金が交付されるものと認識している。また、本事業は、魅力と活力あふれるまちづくりを進め、本市が将来にわたり発展していくために必要不可欠なインフラ整備であり、引き続き、事業主体である県と共に着実に事業を進めていく。

**問** シビックプライドを醸成するため、自治の在り方やまちづくりの基本を示し、それを実現するための仕組みを規定する自治基本条例を制定する考えは。

**答** 企画部長／本市では、シビックプライドを醸成するため、附属機関等の委員公募や市民意識調査、リノベーションまちづくりなど、より直接的に市民がまちづくりに関わる手法を取り入れている。今後もちょうした取組を続けるとともに、自治基本条例については、先進事例を研究していく。

梅沢 弘



### H P V ワクチンの接種を検討・判断するために必要な情報の提供は

**問** 令和四年四月一日からH P V ワクチンの個別勧奨が再開されるが、対象者がワクチン接種を検討・判断するために必要な情報の提供は。

**答** 市民福祉部長／H P V ワクチンの積極的勧奨を行っていない現状においては、接種希望者に対し、可能な限り有効性や安全性などについて説明した上で接種券を交付している。今後は、国から方針が示され次第、



▲ワクチンの有効性や安全性について説明した上で接種券を交付している

安全・安心なワクチン接種に向け、詳細を検討していく。

**問** 子宮頸がんや乳がんなどの検診を受けやすい環境づくりや、その重要性を市民に周知するための取組は。

**答** 市民福祉部長／子宮頸がん検診や乳がん検診については、無料クーポンの送付、婦人がん検診車での集団検診の土曜対応、託児対応など、受診しやすいよう配慮しているほか、乳がん月間や四月九日の子宮の日の啓発活動を積極的に行っている。今後もより一層市民の関心を高めるよう取り組んでいく。

江本 浩二



## 用語解説



### ※1 BCP (P.5)

企業や団体が災害など緊急事態時でも重要な事業を継続させるための計画のこと。自治体では、行政が被災し資源が限られる中でも災害対応等の業務を適切に行うためのもので、あらかじめ策定することが必要とされている。

### ※2 DX (デジタルトランスフォーメーション) (P.5)

企業がデジタル技術やデータを活用し、ビジネスモデルを変革すること。自治体では行政サービスについてデジタル技術やデータ、AIを活用して、住民の利便性を向上させるとともに業務の効率化を図るなど、社会のあり方をより良い方向に変革しようとする取組のこと。

### ※3 パートナーシップ制度 (P.5)

自治体が同性のカップルを「結婚に相当する関係」と認める制度のこと。



### ※4 ふじのくに防災士 (P.6)

地震や台風等の大規模災害に関する専門的かつ実践的な知識を有する人材を養成するため、静岡県が独自に開講した講座を修了し、「静岡県ふじのくに防災士」の称号を授与された者のこと。



### ※5 水道スマートメーター (P.6)

通信機能を備えた水道メーターのこと。検針員が現地を訪問しなくても水道使用量のデータを自動で送信することができる。

### ※6 HPVワクチン (P.7)

子宮頸がんの原因のうち50～70%を占める2種類(16型・18型)のヒトパピローマウイルス(HPV)の感染に対し予防効果のあるワクチンのこと。

### ※7 シビックプライド (P.7)

まちに対する市民の愛着や誇りのこと。また、まちをよりよくするために自らまちに関わっていかうとする気持ちのこと。

## 懲罰特別委員会を設置

「18番 山下富美子議員に対する懲罰の動議」を審査するため、懲罰特別委員会が設置され、次の10人の委員により審査しました。

委員長 渡邊 博夫	副委員長 霞 恵介
委員 平野 謙	委員 尾藤 正弘
委員 久保田吉光	委員 加藤 明子
委員 梅沢 弘	委員 江本 浩二
委員 長田 吉信	委員 川口 三男

本委員会は、12月13日に審査を行い、起立採決の結果、山下富美子議員に対して、戒告の懲罰を科すべきものと決しました。委員会での審査の結果を受け、12月17日の本会議において、起立採決の結果、起立者多数で委員会審査の結果のとおりと決したため、山下富美子議員に対し、議長が戒告文の朗読を行いました。

### 戒告文

去る12月7日の本会議において行われた一般質問における18番 山下富美子議員の発言の一部は、本市の重要課題である市内公立学校の学校規模・学校配置の適正化について、正当な答弁を行った当局の信用を大きく失墜させる無礼な言葉を用い、かつ、自身の法の解釈で断定的な発言をしたことなどは、沼津市議会の品位を汚すものであり、地方自治法第132条に規定する言論の品位及び沼津市議会会議規則第152条に規定する品位の尊重に違反するものである。

よって、地方自治法第135条第1項第1号の規定により、戒告する。

# 各委員会の紹介

議会では、6つの常任委員会が分担して、市の仕事について審査・調査などを行っています。



## 総務委員会

所管：企画部、財務部、危機管理課、出納事務局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属さない事項など



【委員長】梶 泰久  
 【副委員長】浅田美重子  
 【委員】小澤 隆  
 原 信也  
 岡田 進一  
 山下富美子  
 渡邊 博夫

## 文教産業委員会

所管：教育委員会、産業振興部、農業委員会の所管に属する事項



【委員長】市川 道隆  
 【副委員長】植松 恭一  
 【委員】尾藤 正弘  
 深田 昇  
 江本 浩二  
 片岡 章一  
 浅原 和美

## 民生病院委員会

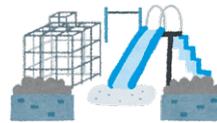
所管：生活環境部、市民福祉部、市立病院の所管に属する事項



【委員長】加藤 明子  
 【副委員長】村木 豊  
 【委員】大場 豪文  
 長田 吉信  
 水口 淳  
 渡部一二実  
 高橋 達也

## 建設水道委員会

所管：都市計画部、沼津駅周辺整備部、建設部、水道部の所管に属する事項



【委員長】久保田吉光  
 【副委員長】小泉 宣子  
 【委員】平野 謙  
 霞 惠介  
 井原三千雄  
 梅沢 弘  
 川口 三男

## 一般会計予算決算委員会

所管：一般会計の予算及び決算



【委員長】尾藤 正弘  
 【副委員長】井原三千雄  
 【委員】村木 豊／大場 豪文／久保田吉光  
 霞 惠介／深田 昇／市川 道隆  
 原 信也／岡田 進一／山下富美子  
 長田 吉信／高橋 達也／浅原 和美

## 特別会計企業会計予算決算委員会

所管：特別会計、企業会計の予算及び決算



【委員長】渡邊 博夫  
 【副委員長】小澤 隆  
 【委員】浅田美重子／平野 謙／小泉 宣子  
 加藤 明子／梅沢 弘／江本 浩二  
 片岡 章一／植松 恭一／水口 淳  
 梶 泰久／渡部一二実／川口 三男

上記の常任委員会以外にも、3つの委員会が設置されています。

### 議会運営委員会

円滑な議会の運営のため、会期中・閉会中を問わず、議会運営全般について協議し、意見調整を図っています。議会運営委員会で確認・決定した事項は、本会議や委員会の運営等に関する基準となるなど、議会における様々なルールを確立させています。

### 沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会

沼津駅周辺総合整備事業の中核をなす鉄道高架事業の早期完成を目指し、鉄道高架事業に関する調査研究及び要望活動等を行います。



### 議会だより編集委員会

議会の広報紙である「ぬまづ市議会だより」の編集及び発行を行います。



常任委員会（総務、文教産業、民生病院、建設水道）では、特定調査事項として、自主的にテーマを設定し調査を行っています。ここでは、その目的と取組状況について、また、各委員会で実施した管内視察について報告します。

## 文教産業委員会

### 特定調査事項

### 「企業立地の促進について」

#### 調査の目的

市内製造業の事業所数や製造品出荷額は年々減少傾向にあり、市内工業は厳しい状況にあることから、企業立地の促進に向けた取組について調査研究を行う。

#### 取組状況

令和3年8月24日に開催した勉強会において、市内工業に関する現状や製造品出荷額等の状況のほか、市内企業・市外企業の事業用地の需要状況などについて学んだ。

### 管内視察

令和3年10月27日に、F3BASEと企業立地に係る事業用地の現場を視察した。

F3BASEでは、フェンシングの普及活動の状況等について説明を受けた。



▲F3BASE

## 建設水道委員会

### 特定調査事項

### 「中心市街地における老朽建築物の更新と市街地環境の向上について」

#### 調査の目的

市内中心市街地では、建物の老朽化や都市のスポンジ化が進行しており、魅力ある都市拠点の形成を阻害する要因となっていることから、人が集い、快適に過ごすことができる空間の創出について調査研究を行う。

#### 取組状況

令和3年8月30日に開催した勉強会において、市内中心市街地の現状と課題や、今後のまちづくりの施策の方向性などについて学んだ。

### 管内視察

令和3年7月20日に、沼川・高橋川流域の治水安全の向上を目的に整備が進む沼川新放水路（仮称）を訪問し、事業主体である静岡県沼津土木事務所より計画の概要や事業効果等の説明を受け、事業の進捗状況を視察した。



▲沼川新放水路（仮称）

# 特定調査事項の取組状況と 管内視察について報告します

## 総務委員会

### 特定調査事項

### 「危機管理体制における 消防団の機能強化等について」

#### 調査の目的

人口減少・高齢化が進行する中、地域防災力を維持するために不可欠な消防団について、団員確保、資機材整備、常備消防や地域との連携などの観点から調査研究を行う。

#### 取組状況

令和3年12月9日に開催した勉強会において、消防団の仕組み、活動状況、課題等について認識を深めた。また、現状把握のため、消防団に対するアンケート調査を実施した。

### 管内視察

令和3年12月24日に、本市で最も建築年数が経過している内浦長浜の第13分団と、津波浸水区域からの移転のため令和3年11月に新たに完成した西浦木負の第14分団の詰所を視察した。



▲消防団第14分団詰所（西浦木負）

## 民生病院委員会

### 特定調査事項

### 「福祉問題の多様化に対する 包括的支援体制の構築について」

#### 調査の目的

近年の多様化する福祉問題に対応するため、従来のような分野ごとの縦割りの対応ではなく、個人や世帯が抱える課題を丸ごと受け止め、各機関が互いに連携しながら解決に向けた支援を行う包括的支援体制について調査研究を行う。

#### 取組状況

令和3年8月27日に開催した勉強会において、本市における福祉の相談支援体制の現状や課題を確認した。

### 管内視察

令和3年11月18日に、社会福祉法人輝望会が運営するC&Cセンターきぼうを訪問し、障害者の生活介護や相談支援、地域活動支援などの事業内容を視察した。



▲C&Cセンターきぼう



新成人議会参加者  
(大岡地区)  
あおき なつ  
青木 南都さん

# ぼくとわたしの ゆめ たから



新成人議会参加者  
(長井崎地区)  
いとう こうた  
伊藤 孝太さん

## 今後の自分を考えて

この成人式を迎えて、私たち新成人は立派な社会人の仲間入りをしました。社会人になったということは社会を構成する一員に加わったということです。そこで、自分が社会に何ができるかを考えてみました。すぐには具体的なことを思い付く事が出来なかつたのですが、まずは自分の身近にいる家族といった人生における先輩から学べることを学ぼうと思えました。例えば、様々なことに対する礼節や行動を見習っていきたいです。そうすることによって、自ずと社会に何か貢献出来る人材になると思います。

## 故郷への愛

大学生になり親元を離れて一人暮らしをしています。生まれ育った沼津を出て慣れない大阪での暮らしを始めてからもうすぐ二年が経ちます。文化も人間性も全く異なる人々との出会い、改めて故郷への愛を感じました。電車の本数は多くないけれど景色が綺麗で、話にオチがなくてもみんなが笑ってくれます。気候も人も暖かさでいっぱいです。帰省する度に自分がいかに恵まれた環境で育ったかを実感します。帰ってくる場所があることへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも離れた土地で頑張ろうと思います。

## 沼津の未来を担う新成人が市政を問う

令和4年1月9日に、新成人が議員役を務める新成人議会が、市議会本会議場で開催されました。今回は新成人18人が参加し、代表して3人が「本市南部地域の人口減少対策」、「学校教育におけるキャリア教育の推進」、「地域資源の価値の再認識」について、市政に関する質問を行い、市長及び教育長が答弁しました。また、質問者以外の新成人が、「ぬまづの誇りとわたしの志」をテーマに、それぞれ思いを語りました。



【新成人議会に関するお問い合わせ】  
生涯学習課  
☎ 055-934-4871

当日の動画を  
YouTubeで配信中!



議会だより次回発行予定 令和4年5月15日



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています

議会だより編集委員会

委員長 深田 昇  
副委員長 小泉 宣子

委員 村木 豊  
委員 市川 道隆

委員 大場 豪文  
委員 岡田 進一

委員 霞 恵介  
委員 山下富美子